

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校
校訓 自主・自律 協同

新座市立第四中学校学校だより 令和5年 2月1日 第11号
TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



伸びやかで、自由な発想を生かして

校長 鮫島 弘樹

刃の部分に保護ケースがついたハサミは、特段珍しいものではありません。しかし、そのケースそのものがカッターナイフになっている、一風変わったハサミが売られていることを知りました。ケースにハサミを収めたまま、カッターとしても使える優れものです。

丸い縁に沿ってギザギザの突起がつけられたお玉というのもあり、四中の給食でも使われています。汁物と麺と一緒にすくうのに、大変便利な調理器具です。

文房具や調理器具、生活雑貨などの世界では、次々と面白いアイデアが製品化されており、感心させられます。

美術室前の廊下で、何人かの3年生がしゃがみ込んでいるのを見かけました。ある生徒は床にひざまずき、まるでドミノ倒しの牌を並べるように、小さなキャンバスを慎重に立てています。かと思えば、壁に刺さった画鋸のわずかな出っ張りに作品を引っ掛けようと、悪戦苦闘している生徒もいました。彼らが手にしているのは、B4サイズ程の作品2枚です。

そこに描かれている図柄は、モチーフが何かを連想できるものもあれば、抽象的な形状が規則性なく散りばめられているものもあります。鮮やかな色彩で、大胆に塗られた作品が多く見られます。

こうした作品を、1人につき2枚制作することになっているそうです。普通は、キャンバスに描いたところで完成となるものですが、この授業はそこで終わりま

せん。2枚を好きなように展示して、それを Chromebook で写真撮影したものが完成作品となるそうです。

ある生徒は、廊下の片隅に立てかけ、自然光をうまく当てながら撮影していました。別の生徒の作品は、わざと少しずつらして並べることで、連続性を持たせるような図柄になっていることが分かりました。窓の格子を展示作品の要素に取り入れて撮影している生徒もいます。

思い思いに撮影が続けられる空間には、伸びやかで自由な発想があふれています。描かれる題材の面白さだけでなく、それをどう組み合わせ、どのアングルで撮影するかという、また別の要素が加えられた作品づくりは実に楽しそうで、私も参加したくなりました。

「こうしなければ」といった窮屈さは感じられません。また、「こうすればよい評価がもらえるだろう」といった打算で作品を作っているようにも思えません。

いかに「見た人がハッとして、楽しんでくれるか」を追求しているようです。

便利で楽しい文具や生活雑貨のような新たな価値は、斬新なアイデアから生み出されます。創造性や独創性を養うのが、私が見かけた美術の作品づくりのような取組の積み重ねなのでしょう。

柔軟な発想力を鍛えた四中生が将来、何か画期的で新しい価値を生み出してくれるかも知れないと考えると、ワクワクしてきます。